

1 藤久保芸能会のお囃子の舞台上で獅子舞が舞う。神田囃子の流れをくむ藤久保の囃子は木宮福荷の春の祭礼、天王様に奉納されている。2 パフォーマンス広場で見事な演技を見せる出演者。3 よさこい明日花の演技中に「夢」の旗がなびく。



4 福島県大熊町のキャラクター・おおちゃん小法師もみよしまつりに参加。三芳町と大熊町は東日本大震災をきっかけに相互交流を深めているパートナー。5 地域の子どもたちが組太鼓で会場を盛り上げる。6 北永井の三興睦の御輿。若い世代が積極的に参加。この日のためにふるさと三芳町に戻って御輿を担ぐ人も。7 みよしまつりが行われる

役場前のグラウンド。人口を超える4万5千人が集まった。8 いるま野連の阿波踊り。軽快な踊りで耳と目で来場者の心をくすぐる。9 よさこい明日花の演舞。鮮やかな赤い衣装を身にまとい、迫力のある踊りで来場者を魅了。五感で来場者を楽しませた。10 上富小学校の児童が演じる「ロックソーラン節」。この日のために必死に練習を重ね、堂々とした踊りを披露した。

フォトコンテスト
開催中!



三芳町フォトコン



第26回

みよしまつり

地域がひとつになり、ふるさと「三芳町」に誇りを感じる
ことができる、年に一度のまちの祭典「みよしまつり」。
9月3日(土)に行われたこのまつりをレポートします。

毎

年9月の第1土曜日に
行われる「みよしまつり」。

今年も夏の終わりの風物詩として9月3日(土)に行われ、4万5千人が来場しました。

コピスみよし前で藤久保中学校吹奏楽部による演奏でスタート。メイン会場ではロックソーラン節や鳴子踊り、組み太鼓や御輿練り歩きが行われ、役場前に設置されたパフォーマンス広場では、キッズダンサーによるダンスやフラダンス、みらいくんとのおみちゃんと一緒にジャンケン大会が行われ、会場を盛り上げていきます。

輪踊りでは多くの人たちが飛び入り参加し「みよし音頭」を踊る光景も見られ、阿波踊りで地元の祭りを体全体で楽しんでいました。

祭りの最後には、2千発の花火が三芳町の夜空を彩りました。地域が一つになる、地元愛を感じることができる「みよしまつり」。地域の皆さんには、ふるさと「三芳町」を誇りに思い、忘れられない「大切な思い出」としてずっと心に残ることでしょう。

